

S A・ネット大阪ニュース 第4号

発行 NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪 <http://sanetosaka.hp.infoseek.co.jp>
〒560-0083 豊中市新里西町2丁目1-1-1408 TEL・FAX 06-6836-5568

◆ ◆ NPO法人 大阪府高齢者大学校の受講生募集にご協力を！！ ◆ ◆

NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪
理事長 永田 得祐

会員の皆様、お元気で新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
本年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

昨年7月以来開講準備をすすめて参りましたNPO法人大阪府高齢者大学校は、愈々この4月からの開講に備え第1期受講生の募集受付を下記の通り開始しました。私どもNPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪も構成団体の一員として、今後この大学校の運営に募集を含めて積極的に参画協力して行きたいと考えています。SA養成講座は、従来の7コースを2コースに集約して中身の濃い充実したカリキュラムとさせていただきました。講師陣もそれぞれの分野の専門家を揃えさせていただきました。二葉理事もその一員です。

募集に当たっては、大阪府・各市町村のご協力を頂いていますが、従来のデータによりますと受講の動機の70%が口コミとの結果が出ています。会員の皆様の口コミによるご協力をよろしくお願い申し上げます。

◆大阪府高齢者大学校の開講目的

- 自分への投資・豊かな自分づくりを
- 仲間と活動を楽しみ地域社会へ
- シニアのパワーで活力ある大阪を

◆内容・定員

1. 共通科目：年20講座

「おおさか学」大阪の気候。風土、歴史、文化、経済、現代

2. 専門科目：年30講座

科 目	定 員	科 目	定 員
シルバーアドバイザー養成・ 地域交流コーディネーター科	50人	シルバーアドバイザー養成・ 多世代交流科	50人
歴史学科	50人	考古学科	50人
古典文学科	50人	上方落語科	40人
I T・パソコン科	30人	英会話科	45人
自然アウトドア科	40人	朗読語り部科	45人
美術科	50人	園芸科	50人

◆受講料 5万円（4万7千円+NPO法人年会費3千円）

但し、教材費や校外学習・実習・自主活動等に要する費用などは別途、受講者負担となります。

◆期間

・平成21年4月～平成22年3月の1年間です。

（ただし、夏季および年末年始は休講）

◆開催場所

（専門科目） ・エール学園 4号館 ・piaNPO

（大阪市浪速区難波中3-9-3） （大阪市港区築港2-8-24）

（共通科目） ・大阪府社会福祉会館

（大阪市中央区谷町7丁目4番15号）

◆受講申し込み方法

・受講申し込みは、「受講申込書」（別紙）に、必要事項をご記入の上、下記の申込先までFAX、または郵送してください。ただし、2月15日までの到着分は2月16日の受け付けとします。

◆申込みの受付期間

・平成21年2月16日（月）～平成21年3月16日（月）（先着順）

・申込みは先着順に受け付け、各専門科目とも定員に達し次第、申込を締め切ります。

*人気の高い科目を受講申し込みされる方は2月15日までに申し込みを完了されることをお勧めします。受付は2月16日午後5時ですが申し込みは随時可能です。

・定員に満たないときは、当該専門科目を中止する場合があります。

◆申込み・問い合わせ先

NPO法人 大阪府高齢者大学校

〒552-0021 大阪市港区築港2-8-24 piaNPO 422号

電話 06-6571-5511 FAX 06-6571-5411

Eメール：okd_office@rouge.plala.or.jp

ホームページ：<http://okd-office.hp.infoseek.co.jp/>

◆募集要項（申込書付き）の配布先

・各市町村の高齢福祉課または社会福祉協議会、公民館、図書館などに配布設置しています。

<エール学園4号館>



<piaNPO>



<大阪府社会福祉会館>



◆ ◆大阪府立介護情報・研修センター 福祉用具説明員サポート事業部◆ ◆

報告者 石井 定雄

大阪府立介護情報・研修センターで、福祉用具説明員業務を平成17年6月より受託し平成21年1月で3年6ヶ月が経過した。団体見学に来館されましたグループは、様々な各種団体、私立大学福祉専門学部学生、福祉介護専門学校学生等で、見学者のニーズに合わせて説明をします。見学者からは、丁寧に行き届いた説明をして頂きましたと多くの団体から礼状を頂きました。

大阪府知事になられました橋下知事が財政改革を提唱されました。大阪府立介護情報・研修センターも財政改革の余波を受けて、大阪府立介護情報・研修センターの存続が話題にされています。

我々お手伝いをしています福祉用具説明員の活動は、どうなるのか懸念されますので、先日 NPO シルバーアドバイザー・ネット大阪 永田理事長、石井理事（福祉用具説明員事業部担当）は、(財)大阪府地域福祉推進財団 草川理事長に今後の大阪府立介護情報・研修センターの存続について話し合いをしました。

話し合いの中で、大阪府立介護情報・研修センターは、平成18年3月31日 前大阪府知事 太田房江知事と(財)大阪府地域福祉推進財団は、指定管理者に指定されている期限は平成23年3月31日までの覚書が締結されているので、平成21年度については、2月の大阪府議会で予算は承認されるものと思います。NPO シルバーアドバイザー・ネット大阪と大阪府立介護情報・研修センターとの福祉用具説明員業務委託は平成21年度は継続をします。

先日、(財)大阪府地域福祉推進財団 草川理事長は、大阪府立介護情報・研修センターにお越しになられまして、福祉用具説明員の業務活動を見学されました。福祉用具説明員の皆様、大変ご苦勞なお仕事です。頑張ってくださいと励ましの言葉を頂きました。

大阪府立介護情報・研修センター主催の「家庭介護講座」で、自助具の活用事例として「片手で編める編み機の体験」を NPO シルバーアドバイザー・ネット大阪に講師の依頼があり、下記のごとく2回の講座の開催を担当しました。

◇ 家庭介護講座：「自助具の活用 片手で編める編み機の体験」

◇ 講座実施日：① 平成20年11月27日（木） 13：30～16：30

② 平成20年12月11日（木） 13：30～16：30



写真：「片手で編める編み機の体験」

◆ ◆ おもしろ算数教室事業部 ◆ ◆

報告者 二葉 登代子



{おもしろ算数教室では}

この教室は、算数マジック、算数パズル、百升計算等を、楽しみながらこれらに挑戦し、子どもたちには、考える力を養い、高齢者には、脳の活性化を図っていただいています。

{事業報告}

- ①「おもしろ算数教室」第7回初級・第6回中級・第5回上級教室終了(11/28)
- ②「サポーター養成講座」第5回サポーター養成講座終了(12/12)

{事業計画}

- ①「おもしろ算数教室」第8回初級・第7回中級・第6回上級教室開講予定(2/13～)

{参加者の声いろいろ}

① 小学生対象の「わくわくプラザ」では、多くの教室の中から、子どもは自由に選んでやってきます。パターン化したスタイルでの実施は不可能です。マジックや百升計算は、適当なタイミングに実施します。そこで、パズルを解くことが中心となり、パズルは、子どもが自由に選んで、挑戦しています。ここでは、立体パズルもあります。

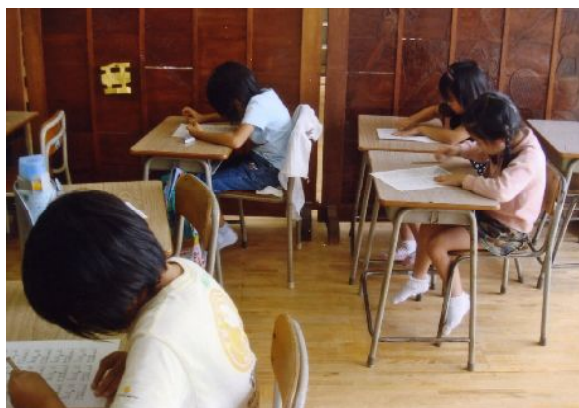
「僕、根気よくやること、苦手なんだ」という子どもが来ました。その子に注意を払っておいて、少し出来た様子に、解答に○付けをし、「ここまで出来たよ。よく頑張っているね、この調子で!」と、褒めると、次への意欲が湧き、ついに完成です。手を取り、抱きしめて、「ヤッター! 頑張れるじゃあないの」と、一緒に喜んでいきます。

② 高齢者の介護予防教室としての「出前教室」でのことです

「頭の錆が少し落ちたみたい」「次はいつ来てくれるの」と喜んでくださった様子に、喜びをいただいています。

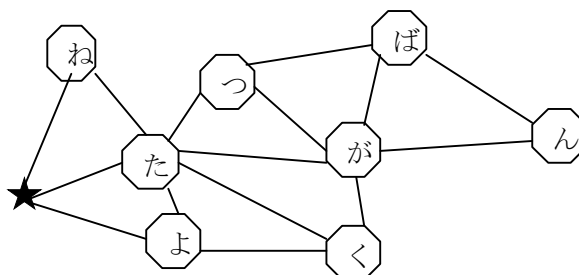
③講座では

「100歳近い母親の介護に疲れています」と仰しゃる方の暗い表情が気になり、心の中で「頑張ってるね」と思っていました。迷路を解き始めた時のことです、ポイントをつかんだ方法をなさっています。「迷路をこの方法から取り組んだ方は初めてですよ。すごい」と、皆さんの中で絶賛! 顔がぱっと明るくなり、それ以降来られる時には、顔つきだけでなく心が弾んでおられる様子が、私と一緒に楽しませてくださっています。



<回路>

★を出発し、全ての地点(○)を、1回だけ通過し、道(線)も1回だけ通過して(但し、通過しない線があっても良い)、★に戻れるかな。





◆ ◆ 伝承おもちゃづくり事業部 ◆ ◆

報告者 三田 進一

平成20年下半期活動実績 (2月10日現在)

活動明細 月 日		SA 参加	来場者
◇10月4日(土)	四天王寺ユニセフ チャリティコンサート	5(人)	30(人)
◇10月11日(土)～12日(日)	四天王寺 秋の古本市	延13	延約120
◇10月25日(土)	大阪市北区ぷらら天満	6	40
◇10月26日(日)	大阪市鶴見区 秀和福祉会 バルーンアート・おもちゃ	8	40
◇11月8日(土)	アクティブシニアフェア 大阪府庁	4	多数
◇11月22日(土)	大阪市北区ぷらら天満 「おもちゃ教室」	5	50
◇11月20日(木)	豊能郡能勢町吉川保育所 バルーン教室	2	40
◇21年1月17日(土)	東大阪市、ヤンググリーン おもちゃづくり&大道芸・マジック	6	40
	合 計	49	約360+α

- 「伝承おもちゃづくり読本」 73冊販売
- おもちゃキッドの販売を始めて行った。
- アクティブシニアフェアは橋下知事の来場もあり盛況だった
- バルーンアート・大道芸の派遣講座も実施、好評だった

写真：<東大阪市・ヤンググリーン「演芸とおもちゃづくり」>



◆ ◆ 国際交流事業部 ◆ ◆

報告者 出口 恭一

NPO SAネット大阪が設立されて2年。そして今年からは、大阪府に代わってNPO法人 高齢者大学校が設立され、その設立に参加し、将来のシニア世代の第二の人生に活力と進路を与えるべく邁進しておりますが、国際交流事業部も現在から将来に目を向けて、我が国が抱える国際的問題を注視し、現在までに外国の有識者の方々の講演会や15カ国におよぶ留学生の方々に各国の風俗、習慣、文化といったお話を伺い、日本の風俗、習慣、文化の違いを認識する機会を作って参りました。またこの度、日本政府は、留学生の招聘を今迄の倍の30万人にする事が公表されましたが、本当に受入れ態勢が整っているのか心配するところでもあります。特に宿舍の問題は大きく、現在、公的な宿舍を与えられているのは全体の30%弱で留学生が倍増した場合は益々、困窮することになります。先般、開催の第6回国際交流サロンで御講演いただいた大阪大学大学院人間科学研究所講師のDr. 山本 ベバリー・アン氏の講演でも宿舍手続きの用紙記載にとまどう話がありました。とかく表向きは国際的でも内実は、問題が多いと思われ。またシャープ工場が堺市に建設されますが、外国人労働者が益々、増加する傾向にあり、我々は、日常茶飯事に外国人と接触することになりますが、外国人はキリスト教や回教徒といった一神教であり、日々の生活の総てが、それらの宗教の戒律を規範として行動していますから、たとへ外国である日本に住いしていても、絶対に、その規範となるものを変える事はありません。その辺りの事が多神教である日本人には理解出来ない事であり、これから将来に亘り摩擦となって生ずる危険性をはらんでいます。それ故に少子高齢化で外国人の労働力に依存しなければならない状況下では、大いに外国人を理解、認識しておく必要性に迫られるものと確信しています。

それ故に多くの人々に国際的な認識を得て頂きたく我々、国際交流事業部では、出来るだけ沢山の沢山人々に御理解をいただくべく種々の趣向でもって御案内をしたいと考えています。前回の第3号でも御紹介しました小学生によるUSJパーフォーマーと「英語で遊ぼう」も昨年11月から12月に掛けて実施し、来る6月にも開催の予定です。

また来る3月22日午後2時から、趣向を変えて「英語落語」を開催いたします。御案内のパンフレットを同封していますので、出来るだけ多くの方々の御参加をお待ちしております。



〔写真〕 USJ



〔写真〕 第6回国際交流サロン